ＰＤＡ 青森県高等学校即興型英語ディベート交流大会 2023

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023 年 7 月 22 日（土）12:00-16:00
会場：オンライン（Zoom）
参加校：4 校、8 チーム（青森県立青森高校、青森明の星高校、八戸聖ウルスラ学院高校、青森県立青森南高校）
参加者：生徒 24 名、教員 9 名
スタッフ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ・青森高校、PDA 認定教育ジャッジ・三沢商業高校、三本木高校、野辺地高校

開会式では、青森県教育研究会外国語部会長・青森南高等学校長の久保田千夏先生より、「志を同じくする仲間とディベートを通した交流を楽しんでください。」とご挨拶いただきました。

次に、一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事の中川智皓より、挨拶とバークレーでのディベートの経験をもとに、スピーチシートの重要性についてメッセージが送られました。

その後、PDA スタッフより、参加校の紹介、ルールの復習、評価基準の説明などが行われました。ルールの復習では、相手チームのスピーチ中に質疑応答を要求することができる POI（Point of Information）について練習を行いました。スタッフの「せーの！」の合図に合わせて、ディベート本番のようにミュートを解除し、「POI！」と言いながら、片手を頭に乗せ、もう片方の手を伸ばす POI のポーズをすることができました。

代表理事中川先生によるご挨拶

全員で「POI！！」

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「**Students should be prohibited from using ChatGPT.（生徒の ChatGPT の利用を禁止すべきである。）**」でした。準備時間が終わると、ジャッジを務める青森県内の高校の教員の進行のもと、ディベートが始まりました。

肯定側は、生徒がどんな方法で ChatGPT を使用する可能性が高いのかを分析しながら、思考力が低下してしまうという問題についてや ChatGPT の信頼性の欠如について、否定側は、むしろ思考の幅が広がるようになることや有効な使い方について説明しました。ディベート中、音声トラブルが生じたテーブルもありましたが、その障害を乗り越え、的確な反論をしている様子も見られました。

ディベートが終わると、画面越しにエアー握手を交わし、お互いのスピーチについてや英語のスピーキングについて話すなど交流を深めました。

明の星 B VS 青森 A

青森 B VS 八戸聖ウルスラ学院 A

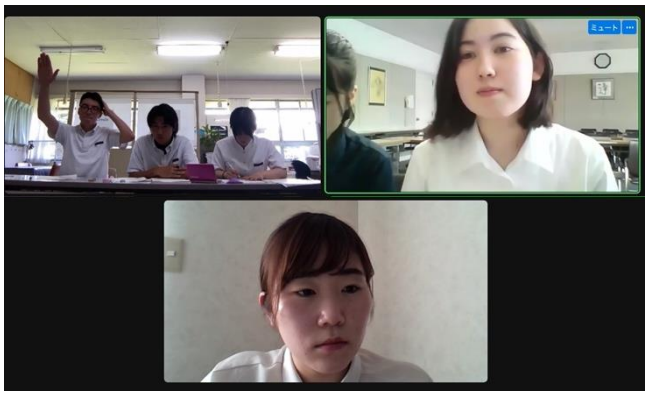
明の星 A VS 青森南 A

ディベートが終わると、ジャッジから、勝敗、勝敗の理由、個人コメント、ベストディベータ、POI の発表などフィードバックが行われました。

特に個人コメントでは、一人一人に良かった点と改善点が提示され、生徒は次のディベートに活かそうとメモをとる様子が見られました。

ジャッジによるコメントの様子

続く第 2 ラウンドのお題は、「**Japan should increase defense spending.（日本は防衛費を増額すべきである。）**」でした。日本において自衛の強化と他の社会保障等のどちらに限られた予算を費やすべきであるかという点や増額することによって本当に安全になるのかという点について議論しました。第 1 ラウンドよりは身近には感じにくい社会問題でしたが、POI を通した質疑応答が活発に行われ、相手チームの主張の根拠や具体的事例についてたずねる様子も見られました。



POI の様子

八戸聖ウルスラ学院 B VS 明の星 A

青森南 A VS 明の星 B

八戸聖ウルスラ学院 A VS 青森 A

チームワークを発揮する様子

ジャッジに訴えかけるスピーチの様子

そしてジャッジが高く評価した生徒６名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「**Japanese students should go to university abroad.（大学は海外に進学すべきだ。）**」でした。両チームとも、海外の大学、日本の大学それぞれでしか得ることのできないスキルや学びについてや進学の障壁について深く分析し、堂々としたスピーチを披露しました。勝敗はエキシビションディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、投票数に差はなく、甲乙つけ難い結果となりました。

エキシビションディベートの様子

エキシビションディベートの準備時間には、青森高校出身で東京外国語大学に所属する小松佳祐さんより、全国大会に出た経験から感じたことや、即興型英語ディベートを通して得たものについてメッセージが送られました。

最後にエキシビションディベータが本日の感想を述べ、交流大会が終了しました。

小松さんによるメッセージ

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

・ＰＭ　明の星高校　　＿＿＿＿＿さん
・ＬＯ　青森南高校　　＿＿＿＿＿さん
・MG　八戸聖ウルスラ学院高校　＿＿＿＿＿さん
・MO　青森高校　　＿＿＿＿＿さん
・ＬＯＲ 明の星高校　　＿＿＿＿＿さん
・ＰＭＲ 青森高校　　＿＿＿＿＿さん

〈チーム賞〉

１位　青森高校 A
２位　八戸聖ウルスラ学院高校 B
３位　明の星高校 A
４位　八戸聖ウルスラ学院高校 A
５位　青森南高校 B

〈ベストディベータ賞〉★は２回選ばれた生徒

・　＿＿＿＿＿さん(青森高校 A)★
・　＿＿＿＿＿さん(明の星 A)
・　＿＿＿＿＿さん(青森南 B)
・　＿＿＿＿＿さん(八戸聖ウルスラ学院 A)
・　＿＿＿＿＿さん(八戸聖ウルスラ学院 B)
・　＿＿＿＿＿さん(八戸聖ウルスラ学院 B)
・　＿＿＿＿＿さん青森高校 B)
・　＿＿＿＿＿さん(明の星 B)

ベストディベータに選ばれた皆さん

〈POI 賞〉★は２回選ばれた生徒

・　＿＿＿＿＿さん(八戸聖ウルスラ学院 B)★
・　＿＿＿＿＿さん(明の星 B)★
・　＿＿＿＿＿さん(青森高校 A)
・　＿＿＿＿＿さん(青森高校 A)
・　＿＿＿＿＿さん(明の星 A)
・　＿＿＿＿＿さん（八戸聖ウルスラ学院 A)
・　＿＿＿＿＿さん(明の星 A)

POI 賞に選ばれた皆さん

集合写真

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

・他校の主張の強さに驚き、学習意欲向上につながった

・他の高校の方たちとディベート出来たことで学ぶことが沢山ありました勉強になりました面白かったです

・初の参加で不安なことがたくさんあったけど楽しくできてよかったです。機会があればまた参加してみたいです。

・仲間と協力をして話し合うことができたのがよかったです。

・初めてのディベート大会で、どうなるんだろうと思っていましたが、自分の意見をしっかりと主張しながら、審査の人に伝わるようにしっかり英語で伝えることができたのでよかったです！来年も参加したいです！！

・難しくて勝てなかったけれどチームの人と協力して全力で楽しめたので良かったです。次はもっと上達した状態でやりたいです。

・エキシビションマッチでは緊張のため上手く話せなかったことが悔しいです。

・悔しいことが多かったからもっと英語の勉強を頑張りたいです！

・今までの英語力で自分はどのくらいまでいけるのかを実感することができました。1 年かけて文法や単語を復習したり新しく覚えたりしてまたディベートに参加していきたいです。

・すごく不安だったけど他校のディベートを聞いてとても参考になり自分の英語力の向上に繋がったと思います。

・ベストチーム賞で 1 位いただくことができ、大変光栄でした。また、POI 賞やエキシビションディベートへの参加もとても嬉しかったです！・他の高校との試合は頻繁にあるものではなく、大好きなディベートを通して交流できたり、チームでの仲をより一層強いものにできたりと、参加して良かったとたくさんの場面で感じられました。また次回ぜひ参加したいです。ありがとうございました！

・もっと英語を話せるようになりたいと思いました。最高のメンバーで優勝できて嬉しかったです！

・楽しかったけど、自分の論が甘かったなと感じた。これからも強い先輩たちと練習して深いディベートをできるようになりたいと思った。

・自分は他校の生徒と英語で会話する機会が少ないので、ディベートをとうしてこのような機会がえれてとてもよかったです。全国大会にも挑戦してみたいです。

（教員の声）
・やはり、力の差を感じました。ディベートに詳しく、練習できる教員がいないので、やりたい生徒がいながらも、申し訳なく思います。
・たくさんの生徒の英語を話しているのを見ることが出来た。勉強になった。
・毎回大変勉強させていただいております。ありがとうございます。ジャッジとして今回ご協力できなく大変申し訳なく思っておりますが、他校のチャーチの皆様のおかげで、充実した時間が過ごせました。ありがとうございます。
・生徒が一生懸命英語を話している姿を見ることができた。